



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社アルファパーチェス 上場取引所 東  
コード番号 7115 URL <https://www.alphapurchase.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 兼 CEO (氏名) 多田 雅之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 齋藤 正弘 TEL 03-6628-8453  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	40,363	8.1	842	4.9	827	4.3	594	5.8
2023年12月期第3四半期	37,336	17.7	802	5.8	793	11.6	561	12.8

（注）包括利益 2024年12月期第3四半期 594百万円（5.8%） 2023年12月期第3四半期 561百万円（12.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	61.66	60.49
2023年12月期第3四半期	59.31	57.57

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	14,313	5,776	40.4
2023年12月期	17,115	5,370	31.4

（参考）自己資本 2024年12月期第3四半期 5,776百万円 2023年12月期 5,370百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,122	10.0	1,210	1.8	1,200	1.4	854	0.4	88.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) APリノベーションズ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	9,664,000株	2023年12月期	9,624,500株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	49株	2023年12月期	49株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	9,639,432株	2023年12月期3Q	9,474,656株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

<https://www.alphapurchase.co.jp/ir/>

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、為替レートの円高への揺り戻しの影響を受けつつも輸出主導型製造業の業績が堅調でした。しかしながら、海外主要国の経済が減速傾向にあることや、海外からの低価格素材品の流入等により、国内の生産活動は力強さを欠き、製造業における数量ベースでの生産は横ばい傾向と見えます。一方、非製造業においては、インバウンド需要拡大による商業施設やサービス業の好調に支えられ、全体として業績は堅調でした。但し、円安や人手不足による物価上昇が引き起こした実質所得の目減りは、一般消費者の食料品や日用品の価格に対する意識を高め、日常使いの商品やサービスの需要には弱さがうかがえます。

このような状況の下、当社グループの主要セグメントであるMRO（Maintenance, Repair & Operations）事業に属する工具、消耗品、安全用品、修繕部品、文房具などの間接材の市場では、一部の素材産業や内需向け産業の需要は伸び悩んだものの、自動車関係や半導体関連などの輸出主導型製造業を中心に、国内生産高の伸び以上に当社サービスのご利用が拡大し、大企業向け販売全般において強い成長が続きました。一方、中小事業所向けの販売に関しては、需要停滞とそれに伴う価格競争の激化により、売上は前年同期比割れとなった上に、売上高総利益率も前年同期より低下しました。

もう一つのセグメントであるFM（Facility Management）事業に関する国内商業施設向けサービス市場では、インバウンド需要拡大を追い風としてお客様である中大型店舗・施設の業績は好調であったものの、金額規模が大きく、建設業法上の建設工事に該当する大型施設の改装案件の実施時期につき、一部で後ろ倒しが発生しました。また、個人消費の動向に敏感な小型店舗の改装案件数が前年同期より減少しました。これらの変化の結果、売上高は前年同期比微増にとどまり、売上構成の変化によって利益率が低下しました。

販売費および一般管理費（販管費）については、賃上げに伴う人件費増や、将来の収益獲得に向けたIT投資・経費の増があり、販管費額は増加していますが、その増加率は売上の増加率を下回っていることから、販管費率が低下し、費用構造が改善しています。

以上のような環境および状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は40,363百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は842百万円（前年同期比4.9%増）、経常利益は827百万円（前年同期比4.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は594百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

間接材購買のためのシステム提供と物品販売を行うMRO事業において、主要顧客である大企業向けの直販経路では、既存顧客に対して当社がシステム上で提供するMRO物品の販売増や、前年に当社との取引を開始した新規顧客による売上の上積みにより、高い成長率を持続することができました。特に、大企業顧客の約7割を占める製造業向けが成長の牽引役となりました。一方、中小事業所向けの販売は、親会社を経由する卸販売形態であり、この経路の顧客の内、製造業のお客様の比率は、全体の4分の1未満にとどまります。残りの4分の3以上は、比較的小規模で、個人消費の動向に敏感な販売・サービス業のお客様が中心で、この中小企業向け経路の売上が前年比割れとなりました。費用面では、持続的な事業成長のためのITシステム投資に伴う減価償却費と、ITシステム運用のためのクラウド費用等の外部委託費用が増加しておりますが、過去の大規模なIT投資の成果物である無形固定資産の一部につき、5年の減価償却期間が満了したことなどから、IT費用の増加率が減速してきており、セグメントの販管費率が低下しました。これらの結果、MRO事業の売上高は30,468百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は売上の増加率を大きく上回る531百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

商業施設向けにサービスの提供を行うFM事業においては、1件当たりの受注金額が大きい大型施設の改装に関して、実施時期の後ろ倒しが発生し、加えて小型店舗の案件が減少したことから、当第3四半期連結累計期間の売上は前年同期比微増にとどまりました。また、売上構成差によってセグメント全体の粗利益率が低下し、セグメントの利益率が3.2%から2.6%へと悪化しました。この結果、FM事業の売上高は9,857百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は252百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

その他事業は、当社の子会社であるATC株式会社のソフトウェア事業が中心であり、同社が高度なノウハウを持つMDM（Master Data Management）関連の外販事業の成約案件が減少したことで、売上高（当社向け売上を除く外販売上）は37百万円（前年同期比35.7%減）、セグメント利益は58百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,752百万円減少しました。休前日効果（前年度末は休前日）等により、売掛金及び契約資産が2,156百万円、現金及び預金が607百万円減少したことが主な要因です。固定資産は2,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少しました。投資その他の資産が差入保証金の減などで186百万円減少、有形固定資産が24百万円減少し、無形固定資産が161百万円増加したことが主な要因です。

これらの結果、総資産は、14,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,801百万円減少しました。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,191百万円減少しました。休前日効果（前年度末は休前日）等により、買掛金が2,712百万円、未払消費税等が188百万円、未払法人税等が165百万円、賞与引当金が67百万円、1年内返済予定の長期借入金が27百万円減少し、未払金が27百万円増加したことが主な要因です。固定負債は38百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少しました。これは主に長期借入金が16百万円減少したことによるものです。

これらの結果、負債合計は8,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,208百万円減少しました。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ、406百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益594百万円、新株予約権行使による資本金11百万円、資本剰余金11百万円の増加、剰余金の配当211百万円による減少が主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は40.4%（前連結会計年度末は31.4%）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ607百万円減少しました。なお、当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、77百万円の収入超過（前年同期比90.4%減）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益827百万円、減価償却費460百万円、売上債権の減少額2,153百万円の収入要因があった一方、仕入債務の減少額2,712百万円、法人税等の支払額385百万円、未払消費税等の減少188百万円、賞与引当金の減少額67百万円の支出要因があったこと等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、450百万円の支出超過（前年同期比16.5%減）となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出590百万円、差入保証金の減少による収入143百万円があったこと等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、232百万円の支出超過（前年同期比4.4%減）となりました。その主な要因は、配当金の支払額211百万円、長期借入金の返済による支出44百万円の支出要因があった一方、株式の発行による収入23百万円の収入要因があったこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,169,591	3,561,842
売掛金	9,527,667	7,413,678
契約資産	80,139	37,575
電子記録債権	52,992	56,359
商品	613,688	651,558
仕掛品	4,915	1,080
貯蔵品	297	1,030
未成工事支出金	79,231	44,779
その他	167,716	176,401
貸倒引当金	-	△741
流動資産合計	14,696,240	11,943,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	84,656	84,656
減価償却累計額	△48,097	△53,044
建物及び構築物（純額）	36,558	31,611
工具、器具及び備品	268,238	274,799
減価償却累計額	△192,668	△215,558
工具、器具及び備品（純額）	75,569	59,240
建設仮勘定	3,373	-
有形固定資産合計	115,501	90,852
無形固定資産		
ソフトウェア	1,520,877	1,455,175
ソフトウェア仮勘定	361,559	588,810
無形固定資産合計	1,882,437	2,043,985
投資その他の資産		
関係会社株式	4,386	4,386
差入保証金	252,677	109,417
繰延税金資産	159,040	118,284
その他	5,412	3,048
貸倒引当金	△308	-
投資その他の資産合計	421,209	235,137
固定資産合計	2,419,148	2,369,975
資産合計	17,115,388	14,313,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,663,412	7,950,944
1年内返済予定の長期借入金	53,320	25,540
未払金	252,514	279,582
未払法人税等	207,560	42,120
未払消費税等	208,312	19,705
契約負債	34,033	29,341
賞与引当金	156,312	89,237
その他	115,125	62,427
流動負債合計	11,690,592	8,498,898
固定負債		
長期借入金	23,364	6,704
資産除去債務	30,701	30,701
その他	557	657
固定負債合計	54,622	38,062
負債合計	11,745,214	8,536,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,806	568,737
資本剰余金	759,527	771,459
利益剰余金	4,053,806	4,436,428
自己株式	△65	△65
株主資本合計	5,370,074	5,776,559
新株予約権	99	20
純資産合計	5,370,174	5,776,579
負債純資産合計	17,115,388	14,313,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	37,336,803	40,363,703
売上原価	33,827,585	36,737,053
売上総利益	3,509,218	3,626,650
販売費及び一般管理費	2,706,236	2,784,240
営業利益	802,981	842,410
営業外収益		
受取利息	16	227
受取保険金	-	4,132
その他	976	1,981
営業外収益合計	993	6,341
営業外費用		
支払利息	229	106
為替差損	9,599	20,180
その他	424	876
営業外費用合計	10,253	21,163
経常利益	793,721	827,588
税金等調整前四半期純利益	793,721	827,588
法人税、住民税及び事業税	187,802	192,472
法人税等調整額	44,009	40,755
法人税等合計	231,811	233,227
四半期純利益	561,909	594,360
親会社株主に帰属する四半期純利益	561,909	594,360



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
四半期純利益	561,909	594,360
四半期包括利益	561,909	594,360
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	561,909	594,360

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	793,721	827,588
減価償却費	456,589	460,962
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△867	432
賞与引当金の増減額（△は減少）	△27,453	△67,075
受取利息及び受取配当金	△16	△227
支払利息	229	106
為替差損益（△は益）	△410	2,782
売上債権の増減額（△は増加）	△199,774	2,153,494
棚卸資産の増減額（△は増加）	181,712	△316
仕入債務の増減額（△は減少）	△233,578	△2,712,467
未払金の増減額（△は減少）	35,337	22,666
未払消費税等の増減額（△は減少）	73,324	△188,606
その他	93,014	△35,892
小計	1,171,829	463,447
利息及び配当金の受取額	16	227
利息の支払額	△237	△116
法人税等の支払額	△366,486	△385,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	805,122	77,643
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△57,565	△3,801
無形固定資産の取得による支出	△481,128	△590,057
差入保証金増加による支出	△896	△320
差入保証金減少による収入	305	143,580
その他の収入	-	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△539,285	△450,499
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△124,660	△44,440
株式の発行による収入	39,764	23,783
自己株式の取得による支出	△65	-
上場関連費用の支出	△16,726	-
配当金の支払額	△141,158	△211,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,845	△232,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	410	△2,782
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	23,400	△607,749
現金及び現金同等物の期首残高	3,896,783	4,169,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,920,184	3,561,842

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	MRO事業	FM事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	27,252,855	8,538,413	35,791,268	4,342	35,795,610	-	35,795,610
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	225,245	1,261,993	1,487,239	53,953	1,541,192	-	1,541,192
顧客との契約から生じ る収益	27,478,100	9,800,406	37,278,507	58,295	37,336,803	-	37,336,803
外部顧客への売上高	27,478,100	9,800,406	37,278,507	58,295	37,336,803	-	37,336,803
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	163,606	163,606	△163,606	-
計	27,478,100	9,800,406	37,278,507	221,902	37,500,410	△163,606	37,336,803
セグメント利益	426,747	315,298	742,046	60,935	802,981	-	802,981

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア関連業を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	MRO事業	FM事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	30,223,350	8,972,326	39,195,676	90	39,195,767	-	39,195,767
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	244,968	885,575	1,130,543	37,392	1,167,936	-	1,167,936
顧客との契約から生じ る収益	30,468,318	9,857,901	40,326,220	37,483	40,363,703	-	40,363,703
外部顧客への売上高	30,468,318	9,857,901	40,326,220	37,483	40,363,703	-	40,363,703
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	184,214	184,214	△184,214	-
計	30,468,318	9,857,901	40,326,220	221,698	40,547,918	△184,214	40,363,703
セグメント利益	531,426	252,607	784,033	58,377	842,410	-	842,410

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア関連業を含んでおります。